

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	五條市における生活排水の適切な処理（第二次）													
計画の期間	平成28年度～平成32年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	五條市													
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道の整備促進により、生活排水が適切に処理され、衛生的で安全な生活環境を確保する。</li> <li>・公共下水道施設の下水道ストックマネジメント計画を策定し、下水道施設を一体的にとらえた維持管理・点検・改築に係る計画（方針）を樹立する。</li> </ul>													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		425	A	425	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	下水道処理人口普及率を49% (H27) から55% (H32) に向上させる。 下水道処理人口普及率(%) = 供用開始区域内人口(人) / 行政人口(人)	49%	52%	55%
2	下水道施設のストックマネジメント計画策定率を0% (H27) から100% (H32) に向上させる。 スtockマネジメント計画策定率(%) = 策定済み計画数(事業計画) / 策定すべき計画数(事業計画)	0%	100%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠(汚水)	新設	未普及対策(五條第1-1処理分区)	管渠新設(250)推進工法 L=0.36km	五條市						247	-	
	A07-002	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠(汚水)	新設	効率的な施設計画の見直し	施設計画の見直し	五條市							8	-
	A07-003	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠(汚水)	新設	未普及対策(五條第5処理分区)	管渠新設(150)開削工法 L=0.31km	五條市							71	-
	A07-004	下水道	一般	五條市	直接	五條市	-	-	下水道ストックマネジメント実施方針策定	計画策定面積A=572.5ha	五條市							24	策定中
	A07-005	下水道	一般	五條市	直接	五條市	-	-	下水道ストックマネジメント計画策定	計画策定面積A=572.5ha	五條市							70	策定中
	A07-006	下水道	一般	五條市	直接	五條市	管渠(汚水)	新設	未普及対策(五條第2処理分区)	管渠新設(150)開削工法 L=0.07km	五條市							5	-
												小計						425	



事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

五條市下水道課において実施

事後評価の実施時期

事業完了後

公表の方法

市ホームページにて公表

事業効果の発現状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

汚水管渠整備を促進したことにより、下水道処理人口普及率が向上した。  
管渠のテレビカメラ調査によって、改築更新を行う箇所が判明した。

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況（必要に応じて記述）

特記事項（今後の方針等）

- 下水道処理人口普及率の向上を図る。
- ・汚水管渠整備の促進
  - ・効率的な事業の実施
- 下水道施設の計画的な改築更新を推進し、下水道としての機能を確保する。
- ・テレビカメラ調査等実施
  - ・修繕改築計画の策定
  - ・道路陥没や地震時等による二次災害を防止

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	55	
	最終目標値	55%
	最終実績値	55%
2	100	
	最終目標値	100%
	最終実績値	0%